

時間	A会場 227教室 果樹Ⅰ	B会場 228教室 果樹Ⅱ	C会場 242教室 果樹Ⅲ	D会場 103教室 野菜Ⅰ	E会場 104教室 野菜Ⅱ	F会場 204教室 野菜Ⅲ
9:00	<p>カンキツⅠ 座長 山本 俊哉</p> <p>1aA 果01 BAC ライブラリを利用したウンシュウミカン物理地図の構築 ○清水徳朗¹・西川美美恵¹・島田武彦¹・遠藤朋子¹・藤井 浩¹・大村三男² (¹農研機構果樹研,²静岡大農学部)</p>	<p>ブドウ 座長 齋藤 寿宏</p> <p>1aB 果01 ブドウ育種選抜圃場における果実形質の樹間変異 ○三谷宣仁¹・山田昌彦¹・上野俊人 (農研機構果樹研)</p>	<p>ナシⅠ 座長 田村 文男</p> <p>1aC 果01 セイヨウナシにおける自家摘果性の品種間差異 ○山本健太郎¹・守谷友紀¹・岩波 宏²・別所英男²・中西テツ^{1,3}・高崎剛志³ (¹神戸大院自然科学研究科,²農研機構果樹研(盛岡),³神戸大農)</p>	<p>育種・品種特性Ⅰ 座長 沖村 誠</p> <p>1aD 野01 エゾヘビイチゴ (<i>Fragaria vesca</i>) 品種・系統の促成栽培における生長と収量 ○Nathwet Preeda¹・柳智博¹・奥田延幸 (香川大農学部)</p>	<p>病害虫・生理障害Ⅰ 座長 藤重 宣昭</p> <p>1aE 野01 アブラナ科植物の何がモンシロチョウを誘引するか。 ○池浦博美¹・早田保義 (明治大院農学研究科)</p>	<p>栄養生理・施肥Ⅰ 座長 中野 明正</p> <p>1aF 野01 培養液の濃度と流速が水耕キュウリ苗の無機要素吸収に及ぼす影響 ○池田英男¹・東馬場怜司² (¹大阪府大院生命環境科学研究科,²大阪府大農学部)</p>
9:15	<p>1aA 果02 公開遺伝子データを用いた果樹に特有な遺伝子候補の抽出 ○藤井 浩¹・島田武彦¹・遠藤朋子¹・清水徳朗¹・大村三男² (¹農研機構果樹研,²静岡大農学部)</p>	<p>1aB 果02 子葉形態異常を示す‘巨峰’自家交配実生に現れる低検性個体 ○中村 努¹・若菜 章²・大久保敬² (¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院)</p>	<p>1aC 果02 ニホンナシ‘新興’枝変わり系統の自家和合性 ○松本辰也^{1,2}・亀山博之¹・児島清秀² (¹新潟農総研園研セ,²新潟大院自然科学研究科)</p>	<p>1aD 野02 種子繁殖型イチゴ育種におけるDNA多型を用いたF₁親の固定化評価 ○前田ふみ¹・石川正美¹・桑田主税^{1*}・津金胤昭¹・青木孝一¹ (¹千葉農総研セ,²山武農林振セ)</p>	<p>1aE 野02 熱ショックがキュウリの病害抵抗性誘導に及ぼす影響 ○佐藤達雄¹・安田美智子²・折原紀子¹・北宜裕¹・工藤俊章²・仲下英雄² (¹神奈川農振セ,²理研中央研)</p>	<p>1aF 野02 給液方法の違いが土壌の三相分布と作物の生育に及ぼす影響 ○吉田千恵¹・岩崎泰永¹・龍野栄子 (宮城農園研)</p>
9:30	<p>1aA 果03 カンキツ第8連鎖群の高密度マーカー領域における遺伝的距離と物理的距離の関連性について ○加藤万博¹・中野道治¹・清水徳朗²・藤井 浩²・島田武彦²・遠藤朋子²・國賀 武²・根角博久²・大村三男¹ (¹静岡大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>1aB 果03 ブドウの VmlybA1-2 cDNAの導入による形質転換体の作出 ○児下佳子¹・小林省藏¹・石丸 恵²・船本佳央³・白石美樹夫^{1*}・薬師寺博¹・東 暁史¹ (¹農研機構果樹研,²大阪府大院生命環境科学研究科,³山口大農学部,[*]福岡農総試)</p>	<p>1aC 果03 ガンマ線照射下でのニホンナシ‘二十世紀’苗木の生育 ○吉岡照高¹・伊藤祐司^{1*}・山ノ内宏昭¹・武月利雄¹ (¹生資研放射線種場,[*]農研機構北農研)</p>	<p>1aD 野03 種子繁殖型イチゴ品種の育成(第2報)自殖6世代、2世代系統の特性とF1系統の作出 ○石川正美¹・前田ふみ¹・桑田主税²・丸尾 達³・木庭卓人³ (¹千葉農総研セ,²山武農林振セ,³千葉大園芸学部)</p>	<p>1aE 野03 肥料および被覆資材がスイカの‘葉巻タンソ’発生に及ぼす影響 ○中西政則¹・石山久悦²・西沢 隆³ (¹山形農総研セ,²山形村山総合支庁,³山形大農学部)</p>	<p>1aF 野03 生ごみコンポストの環境保全型農業への利用(第1報)ニンジンの生育と土壌環境に及ぼす影響 山根信三¹・中村正史¹・吉田徹志 (高知大農学部)</p>
9:45	<p>座長 鉄村 琢哉</p> <p>1aA 果04 カンキツの転写因子様配列のマーカー化と果実形質との関連性の解析 ○園田憲吾¹・藤井 浩²・島田武彦²・遠藤朋子²・清水徳朗²・國賀 武²・根角博久²・大村三男¹ (¹静岡大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>座長 倉橋 孝夫</p> <p>1aB 果04 環状はく皮したブドウ樹の水ストレスに対する反応 ○山根崇嘉¹・柴山勝利^{1*}・浜名洋司¹・薬師寺博² (¹広島農技セ果研,²農研機構果樹研(安芸津),[*]広島農林水産部)</p>	<p>座長 伊藤 寿</p> <p>1aC 果04 ニホンナシにおける果実肥大の品種間差異と細胞分裂および細胞肥大との関係 ○張 才喜^{1,2,3}・田邊賢二²・王 世平³・田村文男²・吉田 亮⁴・松本和浩² (¹日本学術振興会特別研究員,²鳥取大農学部,³上海交通大学農業与生物学院,⁴鳥取園試)</p>	<p>1aD 野04 イチゴにおける頂花房および腋花房の出蕾に関する遺伝特性 ○脇尾麻里子¹・大根田章絵¹・假屋哲朗¹・鈴木 栄¹・荻原 勲 (東京農工大農学部)</p>	<p>1aE 野04 伏せ込み栽培後のアスパラガス根株すき込みによるカタネグサレセンチュウ密度抑制 ○浦上敦子¹・相澤証子¹・村上健二¹・徳田進一¹・東尾久雄 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>栄養生理・施肥Ⅱ 座長 佐藤 文生</p> <p>1aF 野04 肥効調節型肥料によるセル内基肥の連用がキャベツの生育および土壌に及ぼす影響 ○町田剛史¹・岩佐博邦[*]・畑 俊男^{**}・川城英夫 (千葉農総研セ,[*]千葉海浜農振セ,^{**}千葉山武農振セ)</p>
10:00	<p>1aA 果05 ‘宮川早生’のゲノム塩基配列を基に作製したPCRマーカーのカンキツ品種への適用と多型頻度解析 ○山本敦仁¹・清水徳朗²・藤井 浩²・島田武彦²・遠藤朋子²・根角博久²・國賀 武²・大村三男¹ (¹静岡大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>1aB 果05 ブドウ根の成長に伴う維管束の発達ならびに内皮、内鞘の変化 ○アスタトウラダール¹・中尾義則¹・新居直祐 (名城大農学部)</p>	<p>1aC 果05 ニホンナシ果実の品質に及ぼす濃縮海洋深層水とNaCl処理の影響 ○河合義隆¹・竹村弥生²・平塚 伸³ (¹東京農大農学部,²三重大生物資源学部,³三重大院生物資源学研究科)</p>	<p>育種・品種特性Ⅱ 座長 彦坂 晶子</p> <p>1aD 野05 雌性型を種子親としたニガウリ‘熊研BP1号’の育成 ○岩本英伸¹・林田慎一¹・石田豊明¹・森田敏雅 (熊本農研セ)</p>	<p>病害虫・生理障害Ⅱ 座長 松永 啓</p> <p>1aE 野05 数種植物におけるナス科青枯病菌の動態 ○森 太郎¹・米田千恵子¹・大津美香¹・松崎弘美¹・尾崎克巳²・松添直隆¹ (¹熊本県立大環境共生学部,²南九州大園芸学部)</p>	<p>1aF 野05 キャベツ肥料制限苗の炭水化物特性 ○小田雅行¹・中西一朗¹・森源治郎¹・村井恒治² (¹大阪府立大院生命環境科学研究科,²徳島農水総技セ農研)</p>
10:15	<p>1aA 果06 カラタチを利用したカンキツリステザウイルス抵抗性育種の実用的選抜マーカーの作成 ○大村三男¹・遠藤朋子¹・島田武彦²・藤井 浩²・清水徳朗²・國賀 武²・根角博久²・吉田俊雄² (¹静岡大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>1aB 果06 ブドウ‘藤藤’H型短梢剪定における植調剤処理による無核栽培技術 尾尾一郎¹・関 達哉¹・柴田健一郎¹・小泉和明¹・石川一憲² (¹神奈川農技セ,²東京農大農学部)</p>	<p>1aC 果06 AEDA法によるイワテヤマナシ果実の香氣寄与成分の解析 ○大江美穂¹・片山寛則²・菅原悦子³ (¹神戸大院自然科学研究科,²神戸大農食資源教育研究セ,³岩手大教育学部)</p>	<p>1aD 野06 長野県在来カブ品種‘王滝かぶ’の花成に対する低温感温性の系統間差異 大井美知男¹・窪田里子 (信州大農学部)</p>	<p>1aE 野06 ピーマンの接ぎ木における葉齢が養生中の水分生理および接ぎ木活着率に及ぼす影響 ○浄閑正史¹・森源治郎¹・小田雅行 (大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>1aF 野06 重窒素法によるアスパラガスの窒素吸収特性 ○上原敬義¹・元木 悟¹・山田和義¹・山西久夫 (長野野花試)</p>

G会場 205教室 野菜IV	H会場 301教室 花きI	I会場 302教室 花きII	J会場 403教室 花きIII	K会場 341教室 利用I	L会場 342教室 利用II	時間
<p>花芽分化・着果成熟 座長 奥田 延幸</p> <p>1aG野01 ヨウサイ (<i>Ipomoea aquatica</i> Forsk.) の花芽形成と種子形成に関する研究(第2報) 日長処理の影響(統報) ○Kaewsom P・藤目幸擴・寺林 敏・伊達修一(京都府大院農学研究科)</p> <p>1aG野02 着果促進処理がトマトの入室褐変果発生に及ぼす影響 ○寺林 敏・吉川沙織・伊達修一・藤目幸擴(京都府大院農学研究科)</p> <p>1aG野03 トンネル栽培メロンにおける定植後の温度と花飛び現象の関係 ○吉田俊郎・川城英夫(千葉農総研セ)</p>	<p>遺伝資源 座長 嬉野 健次</p> <p>1aH花01 ポットカーネーションにおける倍数性の推定ならびに花の老化とエチレン生合成の品種間差 ○小野崎隆¹・藤田祐一²・八木雅史¹(¹農研機構花き研²熊本阿蘇地域振興局)</p> <p>1aH花02 ペチュニアと近縁属の遺伝資源解析—ペチュニア野生種の花の昼夜開閉運動— ○古市浩之¹・安藤敏夫²・渡辺 均³・國分 尚³・Hashimoto Goro⁴(¹千葉大院自然科学研究科,²千葉大院園芸学部,³千葉大院環境健康フィールド科セ,⁴Centro Pesq. Hist. Nat., Brazil)</p> <p>1aH花03 ササユリの地理的変異(第8報)培養球根の休眠解除特性とその地域性 ○西村秀洋¹・瀧美茂明²(¹大阪府立城山高校,²兵庫教育大)</p>	<p>色 座長 林 孝洋</p> <p>1aI花01 赤色系シクラメンにおけるアントシアニン色素の組成と色彩 ○中山真義¹・高村武二郎²・近藤恵美子³・石坂 宏³(¹農研機構花き研,²香川大農学部,³埼玉農総研セ園研)</p> <p>1aI花02 バラ変異系統における色素とフラボノイドの解析 ○原 靖英¹・中山真義²・阿部知子³・阪本浩一³・宮沢 豊³・吉田茂男³(¹神奈川農総研セ,²農研機構花き研,³理研)</p> <p>1aI花03 ワビスケツバキ‘太郎冠者’に特徴的なアントシアニン関連物質の組成 ○谷川奈津¹・小野崎隆²・中山真義³・柴田道夫(農研機構花き研)</p>	<p>生育・開花調節 座長 大久保 敬</p> <p>1aJ花01 マドンナリリー (<i>L. candidum</i>) の促成および季咲き栽培における開花に及ぼす球周の影響 ○河原林和一郎(静岡大農学部)</p> <p>1aJ花02 オリエンタル系ユリ‘カサブランカ’の長期水溫貯蔵耐性に及ぼす子冷温度と期間の影響 ○西英雄¹・水本幸一¹・清水玲子¹・小池安比古(東京農大農学部)</p> <p>1aJ花03 地温およびマルチによる保温がグロリオサ塊茎の肥大に及ぼす影響 ○二宮千登志¹・西内隆志¹・平石真紀(高知農総研セ)</p>	<p>機能性成分 座長 堀江 秀樹</p> <p>1aK利01 ラッキョウにおける機能性成分の探索と機能解析 ○足立 勝¹・内田好則¹・辰巳保夫¹・倉田裕文²・下森康玄²・倉田理恵³・武知進士⁴(¹宮崎大農学部,²(株)ウィンウエル,³九州沖縄農研セ,⁴崇城大薬学部)</p> <p>1aK利02 赤タマネギ‘湘南レッド’のアントシアニン色素と抗酸化活性 ○曾我綾香¹・吉田誠¹・馬場 新²・清水正美¹・馬場 正²・真子正史²・渡辺慶一³(¹神奈川農総研セ,²東京農大農,³日大・短大)</p> <p>1aK利03 寒冷地におけるイチゴの抗酸化活性及び関連成分の時期的変動(第1報)促成栽培における抗酸化活性の時期的変動 ○岡本 潔¹・今田成雄¹・由比 進¹・片岡 園¹・藤田晃久²・山崎浩道¹・濱野 志¹・矢野孝喜¹(¹農研機構東北農研,²長崎総合農林試)</p>	<p>非破壊解析 座長 河野 澄夫</p> <p>1aL利01 音響振動を用いたラ・フランスの食べ頃評価 ○花田貴紀・桜井直樹(広島大院生物圏科学)</p> <p>1aL利02 振動法による農産物・食品の力学物性計測 ○秋元秀美¹・黒木信一郎²・藤路 陽³・櫻井直樹¹(¹広島大院生物圏科学,²広島大産学連携センター,³(有)生物振動研究所)</p> <p>1aL利03 振動法を利用したメロンの軟化様式の新破壊測定 ○藤路 陽¹・黒木信一郎²・櫻井直樹³(¹(有)生物振動研究所,²広島大産学連携センター,³広島大院生物圏科学)</p>	9:00
<p>1aG野04 軟 X線照射花粉利用種なしスイカの特性把握とその作出に適した品種・栽培方法の検討 ○山根信三¹・鎌山清香¹・尾形凡生¹・杉山慶太²・淀瀬繁樹³・中島国男⁴・田中満穂⁵(¹高知大農学部,²独)北海道農研センター,³鳥取中央農協,⁴ケイワン(株),⁵高知県農総研センター)</p>	<p>育種 座長 稲葉善太郎</p> <p>1aH花04 スターチス・シヌアータ新品種‘紀州ファイインホワイト’および‘紀州ファイインイエロー’の育成 ○古屋拳幸¹・宮本芳城²・藤岡唯志¹・村上蒙完¹(¹和歌山農総研セ暖園セ,²和歌山果樹園芸課)</p>	<p>座長 中山 真義</p> <p>1aI花04 白花湿地性カラー切り花へのクエン酸添加モリブデン酸ナトリウム液処理による黄体化 ○久保 崇¹・森源治郎²(¹専修大北海道短大,²大阪大院生命環境科学研究科)</p>	<p>座長 勝谷 範敏</p> <p>1aJ花04 日長および温度がシネンシス系デルフィニウムの抽台に及ぼす影響 ○佐々木和也¹・嵯峨絃一¹・鮫島正純¹(¹岩手大院連合農学研究科,²青森農総研フラワーセ)</p>	<p>1aK利04 香酸カンキツ‘ゆうこう’の果皮および果汁中のフラボノイド ○徳嶋知則¹・林田誠剛¹・小川一紀²・根角博久¹(¹長崎果樹試,²農研機構果樹研)</p>	1aL利04 簡易型非破壊食べ頃測定装置の開発 ○黒木信一郎 ¹ ・藤路陽 ² ・櫻井直樹 ³ (¹ 広島大産学連携センター, ² (有)生物振動研究所, ³ 広島大院生物圏科学)	9:45
<p>発芽・育苗I 座長 山崎 博子</p> <p>1aG野05 夜冷処理がイチゴ実生花芽分化に及ぼす影響 ○上曾山大¹・丸尾 達¹・石川正美²・篠原 温¹(¹千葉大園芸学部,²千葉農総研セ)</p>	<p>1aH花05 スイートピー新品種‘桜川’の育成 ○中村 薫[*]・日野宏俊[*]・柴田和美^{**}・郡司定雄^{***}・村田寿夫^{****}・富永 寛^{*****}・高橋英生^{*****}・八反田憲生^{*****}(宮崎総農試,[*]南那珂農改セ,^{**}北諸県農改セ,^{***}宮崎農大校,^{****}宮崎県庁,^{*****}元宮崎農試,^{*****}中部農改セ)</p> <p>1aH花06 チュウリップ新品種‘春万葉’‘白ずきん’及び‘紅ざきん’の育成 辻 俊明・池川誠司・高尾麻実(富山農総研セ野菜花き試)</p>	<p>1aI花05 花卉色のスペクトルから見た検討II ○添田麻衣・今井 元・関口文彦(日本女子大理学部)</p> <p>1aI花06 花卉におけるベルベツト様光沢の光学的発現機構について ○張 暘・林 孝洋・細川宗孝・矢澤 進(京都大院農学研究科)</p>	<p>1aJ花05 セルトレイによる長期育苗がエラータム系デルフィニウムの生育に及ぼす影響 ○佐々木直子・佐々木和也・船木一人(青森農総研フラワーセ)</p> <p>1aJ花06 ヒマワリの開花に及ぼす播種期と短日期における長日処理の影響 ○藤林弘恭・武田正孝(愛媛花き総指セ)</p>	<p>1aK利05 貯蔵中におけるゴボウのフルクトオリゴ糖代謝について ○今堀義洋・北村直己・小林静香・瀧原孝宣(大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>座長 桜井 直樹</p> <p>1aL利05 近赤外分光法による残留農薬迅速検出システムの構築 ○Saranwong Sirinnapa・河野澄夫(農研機構食総研)</p>	10:00
<p>1aG野06 イチゴ種子の発芽能向上のための種子精選および種子処理法の開発(第3報)ブライミング処理が発芽に及ぼす影響 ○伊藤善一¹・丸尾 達¹・石川正美²・篠原 温¹(¹千葉大園芸学部,²千葉農総研セ)</p>			<p>1aJ花06 品質成分 座長 足立 勝</p> <p>1aK利06 品種および季節・着色程度の異なるイチゴ果実の遊離アミノ酸含量 ○今原淳吾¹・大場聖司²・荒川 博¹(¹静岡農試,²静岡農林大)</p>	1aL利06 近赤外分光法によるメロン簡易非破壊糖度計の開発 ○吉田 誠 ¹ ・曾我綾香 ¹ ・山野研城 ² ・清水正美 ¹ (¹ 神奈川農総研セ, ² ㈱ワイドテクノ)	10:15	

時間	A会場 227教室 果樹Ⅰ	B会場 228教室 果樹Ⅱ	C会場 242教室 果樹Ⅲ	D会場 103教室 野菜Ⅰ	E会場 104教室 野菜Ⅱ	F会場 204教室 野菜Ⅲ
10:30	<p>カンキツⅠ 座長 喜多 正幸</p> <p>1aA 果07 ウンシュウミカン ‘宮川早生’ と ‘盛田温州’ の果皮発育中のイソプレノイド代謝経路遺伝子の発現プロファイルについて ○石川そのみ¹・清水徳朗²・藤井浩²・島田武彦²・遠藤朋子²・國賀武²・根角博久²・大村三男¹ (1 静岡大農学部, 2 農研機構果樹研)</p>	<p>ブドウ 1aB 果07 コルヒチン処理により作出した四倍体ブドウ台木の挿し木・接ぎ木特性 ○桑原 実¹・草野成夫¹・梶谷裕二^{1*}・井樋昭宏^{1**}・能塚一徳^{1***} (1 福岡農総試果樹苗木, * 福岡農総試, ** 福岡農大, *** 元福岡農総試果樹苗木)</p>	<p>ナシⅠ 座長 松田 賢一</p> <p>1aC 果07 ニホンナシの果実品質改善に関する研究(第2報) 成熟期の葉果比がニホンナシ ‘ゴールド二十世紀’ の糖度に及ぼす影響 ○池田隆政・吉田 亮 (鳥取園試)</p>	<p>育種・品種特性Ⅱ 1aD 野07 フローサイトメトリーによるイチョウイモ (<i>Dioscorea batatas</i> Decne.) ×ジネンジョ (<i>Djaponica</i> Thumb.) 種間雑種の雑種性確認 ○田中一史^{1,2}・楠川 聡²・藤村 真¹・木村康夫² (1 東洋大生命科学研究所, 2 群馬農技セ)</p>	<p>病害虫・生理障害Ⅱ 1aE 野07 トマトの裂開抵抗性に関する調査とその評価法の検討 ○清野義人・前田秀樹・仁坂 悟・武藤章永・西川恒夫 (種苗管理セ)</p>	<p>栽培・作型Ⅰ 座長 荒木 肇</p> <p>1aF 野07 積雪下のキャベツ結球部に加わる積雪の沈降力 ○田村 晃・篠田光江 (秋田農試)</p>
10:45	<p>1aA 果08 カンキツの phytoene synthase (PSY) 遺伝子と β-ring hydroxylase (HYb) 遺伝子のゲノム構造の解析 ○杉山愛子¹・加藤雅也¹・島田武彦²・遠藤朋子²・藤井 浩²・生駒吉識²・清水徳朗²・大村三男¹ (1 岐阜大院連合農学研究科, 2 農研機構果樹研)</p>	<p>キウイフルーツ・イチジク 座長 渡辺 慶一</p> <p>1aB 果08 キウイフルーツ ‘ヘイワード’ における 1-methylcyclopropene (1-MCP) 簡易処理の効果 ○矢野 隆¹・宮田信輝¹・松本秀幸²・井門健太¹・三井萬丈³・宮内良一⁴ (1 愛媛果樹試, 2 愛媛県庁, 3 ローム・アンド・ハースジャパン, 4 JA えひめ中央)</p>	<p>1aC 果08 樹体ジョイント法によるニホンナシ ‘幸水’ の超早期成園化技術開発(第3報) 2年生苗を利用した直線状主枝定植時確立法の検討 柴田健一郎・小泉和明・北尾一郎・関 達哉 (神奈川農技セ)</p>	<p>1aD 野08 培養変異によるエビイモ栽培用サトイモの省力多収品種の育成 ○古谷規行¹・稲葉幸司² (1 京都農資研セ, 2 京都農総研)</p>	<p>1aE 野08 夏秋トマト栽培における放射状裂果の発生に関する研究(第6報) 炭酸ガスの施用がトマト放射状裂果の発生に及ぼす影響 ○鈴木隆志^{1,2}・野村康弘¹・嶋津光鑑²・田中逸夫² (1 岐阜中農研, 2 岐阜大院連合農研)</p>	<p>1aF 野08 神奈川県における加工業務用キャベツ生産に向けた適品種の選定 ○太田和宏・北浦健生・北宜裕 (神奈川農技セ)</p>
11:00	<p>1aA 果09 カンキツ果皮組織に発現特異性を示すリモネン合成酵素遺伝子の 5' 上流域の単離とプロモーター活性の検定 ○西川美美恵¹・遠藤朋子¹・島田武彦¹・藤井浩¹・清水徳朗¹・大村三男² (1 農研機構果樹研, 2 静岡大農学部)</p>	<p>1aB 果09 サルナシの倍数性変異の地域分布と特性 ○片岡郁雄¹・水上 徹¹・金 鎮國¹・別府賢治¹・福田哲生²・末澤克彦²・近野広行³・菅原秀治³・田中功二⁴・佐藤博文⁵・戸沢一宏⁶ (1 香川大農学部, 2 香川農試府中分場, 3 山形最上総支庁産地研, 4 青森農研林試, 5 秋田森林技術セ, 6 山梨森林総研)</p>	<p>1aC 果09 ニホンナシの盛土式根圏制御栽培における底面給水法 ○大谷義夫¹・鷲尾一広²・金原啓一¹ (1 栃木農試, 2 栃木県経営技術課)</p>	<p>育種・品種特性Ⅲ 座長 野口 裕司</p> <p>1aD 野09 ハウレンソウにおける硝酸塩及びシュウ酸塩濃度の季節変動と成長速度との関係 ○上西愛子・吉田 誠・北浦健生・北 宜裕 (神奈川農技セ)</p>		<p>1aF 野09 キャベツの移植栽培における紙マルチの利用 ○北田幹夫¹・布目光勇¹・西田稷²・亀谷泰志³ (1 富山農技セ, 2 野菜花き試, 3 日清オイリオ㈱, JA 全農とっとり)</p>
11:15	<p>ビワ 座長 佐藤 義彦</p> <p>1aA 果10 ビワ花らいに含まれる約数の品種間差 ○富永由紀子・福田伸二・根角博久[*]・寺井理治 (長崎果樹試, * 農研機構果樹研)</p>	<p>1aB 果10 イチジク ‘榊井ドーフィン’ の冬季収穫作型における時期別の適正窒素施用量 ○鎌田憲昭 (静岡柑橘試落葉果樹分場)</p>	<p>1aC 果10 ナシ萎縮症発生樹におけるキャベテーション現象の発生と前年枝体積含水率 ○柴田健一郎¹・池田武文²・平岡潔志³・小泉和明¹・関 達哉¹・北尾一郎¹ (1 神奈川農技セ, 2 京都府立大院農学研究科, 3 農研機構近中四農研)</p>	<p>1aD 野10 光及び窒素施肥量がハウレンソウの硝酸塩及びシュウ酸塩濃度に及ぼす影響 ○上西愛子・吉田 誠・北浦健生・太田和宏・北宜裕 (神奈川農技セ)</p>		<p>栽培・作型Ⅱ 座長 浜本 浩</p> <p>1aF 野10 低濃度炭酸ガス施用が促成栽培キュウリの収量に及ぼす影響とその経済性評価 ○川城英夫¹・土屋 和²・宇田川雄二³ (1 千葉農総研セ, 2 太平洋興業㈱, 3 千葉農林水産部)</p>
11:30	<p>1aA 果11 同時期に開花したビワ幼果の耐寒性の品種間差 ○稗圃直史・福田伸二・寺井理治 (長崎果樹試試験場)</p>			<p>1aD 野11 レタス類における Sesquiterpene Lactones 含量の変異 ○荒川浩二郎¹・南 峰夫²・石田 了³・六角啓一³・中村浩藏²・松島憲一²・根本和洋² (1 岐阜大院連合農学研究科, 2 信州大院農学研究科, 3 タキイ種苗(株))</p>		<p>1aF 野11 軟 X 線照射花粉による種なしスイカ作出のための花粉増量剤の検討 ○阿久津雅子・杉山慶太・室 崇人 (農研機構北海道農研)</p>
11:45				<p>1aD 野12 レタス <i>Lactuca sativa</i> と <i>Lsaligna</i> 間の種間交雑におけるメタキセニア ○上月亜梨紗¹・水谷高幸²・田中孝幸² (1 九州東海大院農学研究科, 2 九州東海大農学部)</p>		<p>1aF 野12 高温期におけるミズナ栽培への再生紙マルチの利用 ○近藤謙介^{1*}・池田奈美枝²・櫻原千枝²・北村義信²・岩崎正美²・恒川篤史¹・松添直隆³ (1 鳥取大乾燥地研セ, 2 鳥取大農学部, * 熊本県立大環境共生学部)</p>

G会場 205教室 野菜IV	H会場 301教室 花きI	I会場 302教室 花きII	J会場 403教室 花きIII	K会場 341教室 利用I	L会場 342教室 利用II	時間
<p>発芽・育苗I 1aG野07 種子繁殖型イチゴの効率的セル成型苗生産方式の確立 ○大豆生田 全毅¹・丸尾 達¹・石川正美²・篠原 温¹(¹千葉大園芸学部,²千葉農総研セ)</p>	<p>繁殖 座長 太田 勝巳 1aH花07 マンリョウ (<i>Ardisia crenata</i> Sims.)の種子発芽について ○横山絳紗・森源治郎・小田雅行(大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>色・香り 座長 大宮あけみ 1aI花07 青色系デルフィニウムの花色と花色との数理的モデル解析 ○橋本文雄・福田祥子・松尾寛子・田中見佳・清水圭一・樗木直也・石黒悦爾・坂田祐介(鹿兒島大農学部)</p>	<p>生育・開花調節 座長 池田 広 1aJ花07 苗齢および育苗時の長日処理がクルメ系ケイトウの切り花品質に及ぼす影響 ○後藤丹十郎・村岡佑基(岡山農学部)</p>	<p>品質成分 1aK利07 ソラマメの食味成分 2. 収穫ステージ別の糖類の量的変化 ○高橋晋太郎¹・増田亮一²・中村善行²(¹宮城農園研,²農研機構作物研)</p>	<p>非破壊解析 1aL利07 近赤外線分光法を利用したモモシクイガ幼虫寄生果実(‘ふじ’)の判別精度 ○豊島真吾¹・田邊哲也²・工藤 確²・水野俊博²(¹農研機構果樹研,²(株)果実非破壊品質研究所)</p>	10:30
<p>発芽・育苗II 座長 名田 和義 1aG野08 低温暗黒下におけるシュンギクのウレタンマット育苗のための鎮圧処理効果 ○山崎基嘉・森下正博(大阪食とみどり総技セ)</p>	<p>1aH花08 観賞用バナナ種子の発芽に及ぼす要因 ○長野伸悟・森源治郎・小田雅行(大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>1aI花08 市販ベチュニア品種のアントシアニン合成系の解析-市販品種における<i>Fls</i> 遺伝子の多型- ○岩崎 晃¹・松原紀嘉¹・陳 素梅¹・山村里佳²・児玉浩明²・國分 尚³・渡辺 均³・安藤敏夫²(¹千葉大自然科学研究科,²千葉大園芸学部,³千葉大環境健康フィールド科セ)</p>	<p>1aJ花08 異なるロットの種子の採種時期がブプレウラムの開花および切り花品質に及ぼす影響 ○後藤丹十郎・石井真由美・藤原一毅(岡山農学部)</p>	<p>1aK利08 タバコ落花抑制に対する受粉及びホウ素の影響 ○濱岡恵理・佐藤 忍・酒井慎吾・岩井宏暁(筑波大院生命環境科学研究科)</p>	<p>1aL利08 熟化期間における西瓜ガキ果実のMRI ○赤浦和之¹・板村裕之²(¹鳥根女子短大,²鳥根大生物資源学部)</p>	10:45
<p>1aG野09 ボトムヒート処理による低温貯蔵中のウリ科およびナス科木挿し穂の水ストレス緩和 ○徳田綾也子・渋谷俊夫・北宅善昭・清田 信(大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>1aH花09 絶滅危惧植物サルメンエビネの完熟種子の発芽に及ぼす諸要因 ○神戸敏成¹・中沖恵美²・三吉一光³(¹富山県中央植物園,²富山県立大短期大学部,³秋田県立大生物資源科学部)</p>	<p>1aI花09 シクラメンの四倍体園芸品種(<i>Cyclamen persicum</i>)と四倍体野生種(<i>C. purpurascens</i>)の種間交雑により得られた複二倍体の香氣成分と花色色素 ○石坂 宏¹・近藤恵美子²・栗原 康³・早乙女孝³・高村武二郎⁴・中山真義⁵(¹埼玉農総研七園研,²埼玉農総研セ,³小川香料(株),⁴香川農学部,⁵農研機構花き研)</p>	<p>1aJ花09 オオシロショウジョウバカマの開花に及ぼす長日処理とジベレリン処理の影響 ○西田育雄・長谷川晴(香川農学部)</p>	<p>収穫後生理 座長 生駒 吉識 1aK利09 鉢花カーネーションにおける室内環境の品質に及ぼす照度と5-アミノレプリン酸処理の影響 ○猪爪亜希¹・林万喜子²・和田義春¹・山根健治¹(¹宇都宮大農学部,²キリン・グリーンアンドフラワー(株))</p>	<p>1aL利09 画像解析による園芸植物の栄養診断法の開発について(第5報)液肥施用したコマツナの画像診断 ○百瀬博文・國田大悟・長澤清之・元田正輝(日本大生物資源科学部)</p>	11:00
<p>1aG野10 低温貯蔵中における接ぎ木接合部への温水供給によるナス接ぎ木挿し穂の活着促進 ○渋谷俊夫¹・中島はるか²・清水(丸雄)かほり³・瓦 朋子³・土屋和⁴(¹大阪府立大院生命環境科学研究科,²大阪府大農学部,³ベルグアース(株),⁴太平洋興業(株))</p>	<p>座長 森 源治郎 1aH花10 播種時期がラークスパーの採種量および種子発芽に及ぼす影響 ○森 義雄(岡山農総研農試)</p>	<p>1aI花10 <i>Petunia axillaris</i>の香氣成分の昼夜リズムに与える生育温度の影響 ○寒河江政詞¹・大久保直美²・半田 高¹・安藤敏夫³・中山真義²(¹筑波大院生命環境科学研究所,²農研機構花き研,³千葉大園芸学部)</p>	<p>座長 河原林和一郎 1aJ花10 断根処理がハナモモ実生当年苗の花芽着生に及ぼす影響 ○塚原清子¹・藤重宣昭²・山根建治²・八巻良和²・本條 均²(¹東京農工大連合農学研究科,²宇都宮大農学部)</p>	<p>1aK利10 収穫後のブロッコリー花蕾におけるクロロフィル誘導体および分解酵素活性に及ぼす高温処理の影響 ○キヤウスクサンサマ^{1,2}・山内直樹^{1,3}・船本佳央³・執行正義^{1,3}・カンラヤナラットシリチャイ²(¹山口大農学部,²キングモンクット工科大生物資源工学部,³鳥取大院連合農学研究科)</p>	<p>流通・包装 座長 井上 弘明 1aL利10 野菜果実の品質における振動衝撃の影響(第2報)イチゴの輸送振動による損傷について ○打田 宏(JA 全農 営農・技術センター)</p>	11:15
	<p>1aH花11 ヤクシマアカシュランの種子発芽に関する研究 ○長谷川遼¹・水谷高幸²・田中孝幸²(¹九州東海大院農学研究科,²九州東海大)</p>	<p>形 座長 半田 高 1aI花11 トルコギキョウ花型の定量的評価 ○横尾美星・河崎実之(東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>1aJ花11 苗の低温処理がヒベリカム‘エクセレントフレーア’の成長と開花に及ぼす影響 ○松野孝敏・國武利浩・谷川孝弘・菓山拓郎・山田明日香(福岡農総研)</p>	<p>1aK利11 トマト‘Micro-Tom’放射線照射処理突然変異集団における果実および形態変異系統の探索 ○野口有里紗・渡瀬智子・永田雅晴・今西俊介(農研機構野菜茶研)</p>	<p>1aL利11 コカブ差庄通風子冷における氷蓄熱高湿度冷蔵庫庫の優位性 ○日坂弘行(千葉農総研セ)</p>	11:30
	<p>1aH花12 種苗の無断増殖を抑制するための除草剤による切りバラ発根阻害 ○伊藤奈緒・福井博一(岐阜大応用生物科学部)</p>	<p>1aI花12 ヘリクリサムの乾膜質総苞片の発達初期に見られる細胞核の消失 ○伊藤弘頭・西川久仁子・細川宗孝・矢澤 進(京都大院農学研究科)</p>	<p>1aJ花12 <i>Lachenalia unicolor</i>の開花に及ぼす温度の影響 ○古平栄一^{1*}・深井誠一²(¹京都植物園,²香川大農学部,*京都山城北農改普セ)</p>	<p>1aK利12 ナスアントシアニン生合成後期の全酵素 cDNA クローニングの試み ○竹内敦子・一法師克成・東 敬子(農研機構野菜茶研)</p>	<p>1aL利12 酸化チタンナノ粒子をコーティングした食品包装用プラスチックフィルムの大腸菌殺菌効果 ○ジャモーンマニーラット^{1,2}・早田保義²(¹National Nanotechnology Center, タイ,²明治大農学部)</p>	11:45

時間	A会場 227教室 果樹Ⅰ	B会場 228教室 果樹Ⅱ	C会場 242教室 果樹Ⅲ	D会場 103教室 野菜Ⅰ	E会場 104教室 野菜Ⅱ	F会場 204教室 野菜Ⅲ
9:00	<p>カンキツⅡ 座長 松本 和紀</p> <p>2aA 果01 カンキツ新品種‘甘平(仮称)’について ○重松幸典・喜多景治*・薬師寺弘倫**・石川 啓・中田治人(愛媛果樹試、*同岩城分場、**愛媛県宇和島地方局農政普及課)</p>	<p>リンゴ 座長 大村 三男</p> <p>2aB 果01 リンゴカラムナー性のマーカー選抜法の検討 ○森谷茂樹¹・岩波 宏¹・古藤田信博¹・高橋佐栄¹・山本俊哉²・阿部和幸¹(¹農研機構果樹研(盛岡), ²農研機構果樹研)</p>	<p>ナシⅠ 座長 柴田健一郎</p> <p>2aC 果01 ニホンナシに対する受粉樹の早期開花系統の特性 ○西川祐司¹・山根崇嘉¹・加納徹治^{1*}・塩田勝紀¹・松本要^{1**}(¹広島農技七果研, ²広島西部農技指導所, **元広島農技七果研)</p>	<p>育種・品種特性Ⅳ 座長 松添 直隆</p> <p>2aD 野01 ナスとヒラナスのF₁, BC₁およびBC₂の稔性について ○宮田 悟・一色 司郎(佐賀大農学部)</p>	<p>成分・色・香りⅠ 座長 河鱈 実之</p> <p>2aE 野01 アスパラガス擬葉中のルチン含量の季節変動 ○前田智雄¹・地子立²・佐藤博二³・鈴木 卓¹・大澤勝次¹(¹北大院農学研究科, ²北海道花野菜技セ, ³(財)北海道農業企業化研)</p>	<p>栽培・作型Ⅲ 座長 小田 雅行</p> <p>2aF 野01 根深ネギの平床挿し苗栽培法に関する研究(第1報)平床挿し苗栽培の生育特性について ○岩崎泰史¹・中畠 誠¹・関口明男¹・岡安 正¹・生形藤一²(¹埼玉農総研セ園研, ²JAふかや)</p>
9:15	<p>2aA 果02 カンキツ新品種‘べにばえ’ ○高原利雄・柳園直史*・今井 篤・吉岡照高**・國賀 武・松本亮司***・三谷宣仁(農研機構果樹研, *長崎果樹試, **生資研放射線育種場, ***佐賀大農学部)</p>	<p>2aB 果02 クラブアップル品種‘Scheidecker Crab’における自家結実性と自家不和合性遺伝子の特徴 ○桜井健二¹・伊東孝峻^{1*}・長谷川美穂¹・阿部和幸²・川島長治¹(¹秋田県立大生物資源科学部, ²農研機構果樹研, *鹿児島大院農学研究科)</p>	<p>2aC 果02 自発休眠期におけるニホンナシ芽中のポリアミン含量の変化 ○田村文男・竹村圭弘・松田華奈・中田 昇(鳥取大農学部)</p>	<p>2aD 野02 季節依存型の雄性不稔突然変異 <i>Solanum nigrum</i> L. ssp. <i>villosum</i> において日長と温度が花器形態と稔性に及ぼす影響 ○オジュウオクリストファーオチュエン¹・村上賢治¹・田中 淳²・長谷純宏²・榊田正治¹(¹岡山大院自然科学研究科, ²日本原子力研究機構高崎量子応用研究所)</p>	<p>2aE 野02 普通ソバ (<i>Fagopyrum esculentum</i> Moench) とダツタンソバ (<i>F. tataricum</i> Gaertn.) のスプラウトにおけるフェノール化合物含量に及ぼす遮光の影響 ○金 善州・鈴木達郎・瀧川重信・野田高弘・山内宏昭(農研機構北海道農研)</p>	<p>2aF 野02 生育モデルによる暖候期レタスの地上部乾物重および抽台長に及ぼす高温影響解析 ○岡田邦彦・浅沼伸吾・村上健二・相澤詠子(農研機構野茶研)</p>
9:30	<p>2aA 果03 自家不和合性のあるヒュウガナツ系統‘井原日向’の特性について ○荒木勇二(静岡柑橘試伊豆分場)</p>	<p>2aB 果03 リンゴ果皮アントシアニン蓄積に関与するQTLに対する受光環境の影響 ○深澤(赤田)朝子¹・千葉憲幸¹・工藤 剛¹・今智之¹・佐藤 耕¹・五十嵐恵²・初山慶道²・阿部佳枝²(¹青森農林総研セグリーンバイオ)</p>	<p>2aC 果03 ニホンナシに対するMAE30の摘花効果 ○大川克哉¹・小原 均¹・北条壽一²・久保田直樹²・谷口誠浩²・松井弘一¹(¹千葉大園芸学部, ²丸尾カルシウム(株))</p>	<p>2aD 野03 短節間性トマトにおける栽培時期が花房の高さに及ぼす影響 ○松永 啓^{1*}・吉田建実¹・矢ノ口幸夫^{2**}・齊藤 猛雄¹(¹農研機構野菜茶研, ²長野中農試, **故人)</p>	<p>2aE 野03 蛍光灯連続光下における暗期挿入および暗期の温度がシトウ果実の辛味発現に及ぼす影響 ○村上賢治・井戸睦己・榊田正治(岡山大院自然科学研究科)</p>	<p>2aF 野03 ガラス室内でポット栽培したレタスの収量および品質に及ぼす育苗中の夜温の影響 ○大和陽一・壇 和弘(農研機構九沖農研)</p>
9:45	<p>座長 富永 茂人</p> <p>2aA 果04 カンキツ10品種におけるBrix値の安定性評価 ○今井 篤¹・國賀 武¹・吉岡照高^{1*}・柳園直史^{1**}・深町 浩¹・高原利雄¹(¹農研機構果樹研, *生資研放射線育種場, **長崎果樹試)</p>	<p>座長 本多 親子</p> <p>2aB 果04 <i>in situ</i>ハイブリダイゼーションによるMdPI遺伝子の局在 ○田中紀充¹・和田雅人²・嬉野紋乃²・滋田徳美³・佐藤智子³・小森貞男⁴・別所英男²・壽松木章⁴(¹岩手大院連合農学研究科, ²農研機構果樹研, ³岩手大院農学研究科, ⁴岩手大農学部)</p>	<p>ナシⅡ・クリ 座長 平塚 伸</p> <p>2aC 果04 自家不和合性遺伝子に基づくナシ属の遺伝的多様性評価(第4報)東海・近畿・四国地方に由来する在来ナシの自家不和合性遺伝子型の推定 ○佐藤義彦・間瀬誠子・齊藤寿広*・正田守幸**・澤村 豊・高田教臣・佐藤明彦・平林利郎・池谷祐幸(農研機構果樹研, *山梨果試, **沖繩農研名護)</p>	<p>2aD 野04 ピーマンの Doubled-Haploid 系統等の青枯病菌接種検定 ○世見 由香里¹・木下 哲次²・杉田 亘¹・尾崎 克巳³・杉尾 昌嗣¹・平原 哲郎¹(¹宮崎農試, ²東臼杵南部普及センター, ³南九州大)</p>	<p>2aE 野04 雪中貯蔵キャベツの部位別のビタミンU含量と糖含量の消長 ○瀧川重信・遠藤千絵・野田高弘・金 善州・橋本直人・山内宏昭(農研機構北海道農研)</p>	<p>栽培・作型Ⅳ 座長 園田 高広</p> <p>2aF 野04 露地栽培グリーンアスパラガス若茎の頭部の縮まり ○地子 立・田中静幸(北海道立花・野菜技術センター)</p>
10:00	<p>2aA 果05 地域特産香酸カンキツの果肉に含まれるフラボノイド含量とその組成 ○根角博久¹・坂井(大原)有美子²・吉澤栄一³・矢野昌充¹(¹農研機構果樹研, ²佐賀果試, ³大分果樹研, *大分中部振興局)</p>	<p>2aB 果05 リンゴ単為結実品種の花器官におけるクラスB遺伝子の発現解析Ⅱ ○和田雅人¹・嬉野紋乃¹・田中紀充²・松本省吾³・小森貞男²・別所英男¹(¹農研機構果樹研, ²岩手大農学部, ³岐阜大教育学部)</p>	<p>2aC 果05 ニホンナシS4smハプロタイプ特異的マーカーによる自家不和合性個体の選抜 ○岡田和馬¹・柏木由夏¹・守谷友紀¹・澤村 豊²・松本辰也³・村田謙司⁴・中西テツ¹・高崎剛志⁵(¹神戸大院自然科学研究科, ²農研機構果樹研, ³新潟農総研園研セ, ⁴鳥取園試, ⁵神戸大農学部)</p>	<p>遺伝資源 座長 一色 司郎</p> <p>2aD 野05 長野県在来バレイショ‘下栗二度芋’と近縁在来品種のウイルス罹病状況 ○河村昌太¹・中村武郎²・東 幹雄³・町田明広³・大井美知男¹(¹信州大農学部, ²長野県下伊那農改セ, ³種苗管理セ)</p>	<p>成分・色・香りⅡ 座長 瀧川 重信</p> <p>2aE 野05 シソ葉の抗酸化活性及びペリラルデヒド含量の播種日による変動 ○番 喜宏・矢部和則(愛知農総試)</p>	<p>2aF 野05 アスパラガス若茎を実際に押し倒して立茎させる誘引法の開発 田中昭夫*・坂本隆行・越智資泰・今井俊治(広島農技セ, *広島北部農技指導所)</p>
10:15	<p>2aA 果06 ‘無核紀州’タイプの無核性発現と胚の発育停止に及ぼすジベレリンの影響 ○山崎安律^{1*}・北島 宣¹・羽生 剛¹・清水徳朗²・國賀 武²・吉田俊雄²・尾形凡生³・長谷川耕二郎³・山田利昭¹(¹京都大院農学研究科, ²農研機構果樹研, ³高知大農学部)</p>	<p>2aB 果06 リンゴ‘つがる’および‘ふじ’の着色系統の着色能力評価(第1報) ○島良七¹・永山宏一¹・小松喜代松¹・別所英男²(¹福島農総セ果研, ²農研機構果樹研(盛岡))</p>	<p>2aC 果06 ニホンナシ‘長十郎’のBACライブラリー作製によるS2-RNase周辺領域BACコンティグの構築 ○戸中 希¹・柏木由夏¹・岡田和馬¹・中西テツ¹・高崎剛志²(¹神戸大院自然科学研究科, ²神戸大農学部)</p>	<p>2aD 野06 ミャンマーにおける野菜遺伝資源の共同探索調査 ○齊藤猛雄¹・松本満夫²・Than Htaik³・San San Yi³(¹農研機構野菜茶研, ²高知農技セ, ³ミャンマー野菜果樹研究開発セ)</p>	<p>2aE 野06 赤カブ肥大部におけるUV-A 特異的なアントシアニン誘導に関する研究 ○本間信一郎¹・李 玉花²・河鱈実之¹(¹東京大院農学生命科学研究科, ²東北林業大生命学院)</p>	<p>2aF 野06 アスパラガス伏せ込み促成栽培における秋冷気象と若茎の生育との関係 ○山田 修・及川一也(岩手農研セ)</p>

G会場 205教室 野菜IV	H会場 301教室 花きI	I会場 302教室 花きII	J会場 403教室 花きIII	K会場 341教室 利用I	L会場 342教室 利用II	時間
<p>生育生理I 座長 柳 智博</p> <p>2aG野01 トマトとキュウリの耐塩性におけるポリアミンの関与 ○名田和義・服部 侑(三重大院生物資源学研究所)</p> <p>2aG野02 トマト根の内部形態と酸素不足による壊死について ○鈴木克己・黒崎秀仁・河崎 靖・中野有加(農研機構野菜茶研)</p> <p>2aG野03 外気導入式強制換気法の昇温抑制効果とトマトの生育、収量およびリコペン含量 ○井手 治・森山友幸・龍 勝利・奥幸一郎(福岡農総試)</p> <p>2aG野04 自動遮光制御による強光ストレスの軽減がトマトの果実発育に及ぼす影響 ○吉田裕一・中園堯士(岡山農総試)</p>	<p>組織培養 座長 金山 喜則</p> <p>2aH花01 アジサイの茎頂近傍に存在する表在性細菌の除去 ○北村嘉邦・細川宗孝・矢澤 進(京都大院農学研究所)</p> <p>2aH花02 食品添加物と煮沸を併用して培地を滅菌すると長期間の植物培養でも微生物汚染されない ○水田洋一・東出奈穂子・矢澤 進(京都大院農学研究所)</p> <p>2aH花03 シクラメンの薬培養における植物体再生に及ぼす糖の影響 高村武二郎・坂本健一郎・堀川真史(香川農総試)</p> <p>2aH花05 冷陰極蛍光ランプ(CCFL)光源を用いたシンビジウムクローン苗の生育に及ぼすCO₂施用条件 田中道男¹・則川篤志¹・氏家正徳²(¹香川農総試、²有)バイオ・U)</p> <p>2aH花06 シュッコンスイートピーの節培養による増殖に及ぼす植物生長調節剤の影響 ○渡辺英介・小池安比古・今西英雄(東京農大農学部)</p>	<p>収穫後生理 座長 小野崎 隆</p> <p>2aI花01 花卉の糖質含量を測定するための試料を簡易迅速に抽出する方法の確立 ○乗越 亮^{1,2}・今西英雄²・市村一雄¹(¹農研機構花き研、²東京農大農学部)</p> <p>2aI花02 バラの老化花卉におけるプロテオーム細胞死の品種間差 ○山田 哲也^{1,2}・市村一雄¹(¹農研機構花き研、²東京農大農学部)</p> <p>2aI花03 高温条件下でバラ切り花の花持ちが短縮する要因の解析 ○市村一雄¹・湯本弘子¹・乗越亮^{1,2}(¹農研機構花き研、²東京農大農学部)</p> <p>2aI花04 トルコギキョウ極早生八重品種におけるプラスチックおよび奇形花発生時の雌薬形成の遅延現象 ○福田直子・牛尾亜由子(農研機構花き研)</p> <p>2aI花05 スイートピーの落蕾防止における1-methylcyclopropene(1-MCP)の効果 ○中島 拓¹・後藤丹十郎²・久保康隆²・土居典秀¹(¹岡山農総試、²岡山大)</p> <p>2aI花06 ファレノプシスの黄斑症株からの簡易的RT-PCR法によるORSVとCyMVの同時検出 ○山根健治・大山健太郎・小川広子・夏秋知英(宇都宮農大農学部)</p>	<p>生育・開花調節 座長 仲 照史</p> <p>2aJ花01 キクの直接短日定植法における育苗条件が定植後の成長と開花に及ぼす影響 ○國武利浩¹・中原光久²・松野孝敏¹・谷川孝弘¹・菓山拓郎¹・山田明日香¹(¹福岡農総試、²九電(株))</p> <p>2aJ花02 キクのロゼット化を誘導する温度要因とロゼット性の実用的評価法 ○谷川孝弘¹・松野孝敏¹・國武利浩¹・菓山拓郎¹・山田明日香¹(福岡農総試)</p> <p>2aJ花03 エセフォン処理によるキクの花芽分化および節間伸長の抑制に対する温度の影響 ○住友克彦¹・柴田道夫¹・道園美弦¹・久松 完(農研機構花き研)</p> <p>2aJ花04 沖繩における夏秋ギク品種の開花・生育特性 ○関塚史朗¹・比嘉良次¹・勝連盛憲²・玉木 力¹(¹沖縄農研、²沖縄県庁)</p> <p>2aJ花05 電照打ち切り後の低温および高温遭遇時期がキクの花芽発達に及ぼす影響 ○長菅香織¹・矢野孝喜¹・山崎 篤(農研機構東北農研)</p> <p>2aJ花06 栽植密度がキクの生育、切り花の形質に及ぼす影響 ○池田 広・今村 仁・岡本章秀(農研機構九州沖繩農研)</p>	<p>生理活性物質 座長 村山 秀樹</p> <p>2aK利01 ブラシノライドとブラシナゾールの浸漬処理に伴う培地と植物体中での挙動 ○大石恵理子¹・田仲 究¹・中村考志²・浅見忠男³・吉田茂男³・岡本繁久¹・松尾友明¹(¹鹿児島農学部、²京都府立大人間環境学部、³理研)</p> <p>2aK利02 西洋ナシのACC合成酵素およびACC酸化酵素遺伝子の発現に及ぼす成熟段階で異なったジャスモン酸の影響 ○近藤 悟・山田裕子・シーターズステイファン</p> <p>2aK利03 カキ果実のエチレン生成に及ぼす樹体要因の影響 板村裕之¹・孫 寧靜¹・花岡陽介¹・中務 明(鳥根大生物資源科学部)</p> <p>2aK利04 '中谷早生'・'刀根早生'・'平核無'カキ果実の発育特性と収穫後の軟化防止 ○相良洋紀¹・播磨真志²・中野龍平^{1,3}・牛島幸一郎^{1,3}・久保康隆^{1,3}・稲葉昭次^{1,3}(¹岡山大院自然科学研究科、²和歌山農林水総試セ果樹試かき・もも研、³岡山農学部)</p> <p>2aK利05 鮮度保持 座長 山内 直樹</p> <p>2aK利05 花き類生け水中の緑膿菌等細菌の発生消長と品質保持剤による菌数抑制 ○松下陽介¹・月星隆雄²・伊藤陽子¹・市村一雄¹・湯本弘子¹・築尾嘉章¹・岡野邦夫¹(¹農研機構花き研、²農研機構畜草研)</p> <p>2aK利06 水点下貯蔵終了後のニンニクリン茎の萌芽、発根に及ぼす高温処理の影響 ○山崎博子¹・菊池昌彦²・木村利幸²・木下貴之²・矢野孝喜¹・長菅香織¹・稲本勝彦¹・山崎 篤¹(¹農研機構東北農研、²青森農総研)</p>	<p>利用・加工 座長 板村 裕之</p> <p>2aL利01 園芸作物残渣の処理方法に関する研究 1. アルカリ加水分解 ○西沢 隆・松村太一(山形農学部)</p> <p>2aL利02 天然の色素をもつ加工花の作製にむけた体内水分と保存液との置換法の改善 ○伊藤弘顕¹・林 孝洋¹・橋本昌樹²・宮川克郎²・中村早織²・矢澤 進¹(¹京都大院農学研究所、²サントリーフーズ(株))</p> <p>2aL利03 ブルーベリー7品種における果実形質とジャム特性との関係 萩原 勲¹・山田綾乃¹・亀有直子¹・車 敬愛¹・鈴木 栄¹・石川駿二¹・小池洋明(東京農工大農学部)</p> <p>2aL利04 カキ粉末の作成工程の違いによる抗酸化ビタミン含量の変化 ○新川 猛¹・尾関 健¹・加藤雅也²・生駒吉識²・三宅紀子³・倉田忠男³(¹岐阜農総試、²農研機構果樹樹研、³新潟薬科大応用生命科学部、⁴静岡農学部)</p> <p>2aL利05 高分子タンニンの酵素的架橋反応とゲル化技術の開発 松尾友明¹・飯田恭子¹・岡本繁久¹・中村考志²(¹鹿児島農学部、²京都府立大人間環境学部)</p> <p>心理療養 座長 八巻 良和</p> <p>2aL利06 ウンシュウミカン果実への印字は消費者への情報提供の手段として有効 ○稲葉元良¹・竹川幸子¹・佐藤和憲²・河野恵伸²・大浦裕二²・清野誠吾³(¹静岡柑橘試、²農研機構中央農総研、³宮城大食産学部)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p>

時間	A会場 227教室 果樹Ⅰ	B会場 228教室 果樹Ⅱ	C会場 242教室 果樹Ⅲ	D会場 103教室 野菜Ⅰ	E会場 104教室 野菜Ⅱ	F会場 204教室 野菜Ⅲ
10:30	<p>カンキツⅡ 座長 草場新之助 2aA 果07 タンカンの開花と生理果実の生長と成熟に伴うデンプン、アミロースおよびアミロペクチン含量の変化の比較 ○Thammawong Manasikan・荒川 修(岩手大院連合農学研究科)</p>	<p>リンゴ 2aB 果07 リンゴ4品種における果実の生長と成熟に伴うデンプン、アミロースおよびアミロペクチン含量の変化の比較 ○Thammawong Manasikan・荒川 修(岩手大院連合農学研究科)</p>	<p>ナシⅡ・クリ 2aC 果07 Sa, Sb, Sc, Sd, Se, Sg, Sh, Si, Sk, Sl, Sm, Sn, Sp, Sq, Sr, Ss, St対立遺伝子を持つセイヨウナシ品種のS遺伝子型を推定するPCR-RFLPシステム ○守谷友紀¹・山本健太郎¹・岡田和馬¹・岩波宏²・中西テツ^{1,3}・高崎剛志³(¹神戸大院自然科学研究科,²農研機構果樹研(盛岡),³神戸大農)</p>	<p>遺伝資源 2aD 野07 RAPD分析に基づくフリリカ及びアジア在来メロンの遺伝的多様性及び類縁関係 ○明石由香利^{1,2}・田中克典³・Yi, San San⁴・Chou, Tin Tin⁴・Khaing, May Thinn⁴・西田英隆¹・加藤鎌司¹(¹岡山大学農学部,²(株)三共種子,³総合地球環境学研究所,⁴VFRDC, ミャンマー)</p>	<p>成分・色・香りⅡ 2aE 野07 メロン幼苗期における水ポテンシャルと分光反射特性の関係 ○松尾憲一¹・兵頭竜二²・高見寿隆³・一丸禎樹¹・下村義昭²(¹長崎総農林試,²長崎工技セ,³長崎果樹試)</p>	<p>栽培・作型Ⅳ 2aF 野07 アスパラガスのアレロパシーに関する研究(第10報)アスパラガス連作障害における活性炭を利用したアレロパシー回避技術の確立 ○元木 悟¹・西原英治²・平箱俊太郎³・藤井義晴³・篠原 温⁴(¹長野野菜花き試,²新潟農総研園セ,³農環研,⁴千葉大園芸学部)</p>
10:45	<p>2aA 果08 “青島温州”における隔年結果性と樹体栄養および土壌化学性との関係 ○中村明弘・竹川幸子・吉川公規(静岡柑橘試)</p>	<p>座長 朝倉 利貞 2aB 果08 リンゴ‘ふじ’の単植化に適する授粉専用品種の選抜 ○別所英男¹・和田雅人・工藤和典・猪俣雄司・岩波 宏・阿部和幸(¹農研機構果樹研(盛岡))</p>	<p>座長 清水 徳朗 2aC 果08 ナシの連鎖地図IX:ニホンナシ‘巾着’の黒星病抵抗性と連鎖するAFLPおよびRAPDマーカーのSTS化 ○寺上伸吾¹・郷内 武²・足立嘉彦³・澤村 豊⁴・高田教臣⁴・西谷千佳子⁴・池谷祐幸^{1,4}・霞 正一²・山本俊哉^{1,4}(¹筑波大院生命環境科学研究科,²茨城農総生工研,³農研機構東北農研,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>マーカー他Ⅰ 座長 尾崎 行生 2aD 野08 定量PCRによる雌雄性および超雄性アスパラガス個体の判別 ○安達由美子¹・笠井登¹・菅野 明²・増田清¹(¹北海道大農学部,²東北大院生命科学研究所)</p>	<p>生理活性物質 座長 池田 敬 2aE 野08 ネギにおけるジベレリン関連遺伝子のクローニングおよび発現解析 ○白岩裕隆¹・板井章浩²・田中大輔²・執行正義³・本多一郎⁴・田辺賢二²(¹鳥取園試,²鳥取大農学部,³山口大農学部,⁴農研機構野菜茶研)</p>	<p>栽培・作型Ⅴ 座長 鈴木 克己 2aF 野08 長野県におけるロコトトマト栽培における収量および品質に及ぼす影響 ○松島憲一・南 竜二[*]・南 峰夫・根本和洋(信州大院農学研究科,[*]カネコ種苗)</p>
11:00	<p>2aA 果09 根域制限栽培のウンシュウミカン‘上野早生’における水分ストレス付与程度の違いが果実品質に及ぼす影響 ○貝原洋平¹・宮本輝仁²・新堂高広¹(¹佐賀果樹試,²農研機構九州農研)</p>	<p>2aB 果09 細霧装置等の利用によるリンゴの開花時期の調節技術の開発(第1報)リンゴの発芽・開花への影響 ○本條 均¹・西野真太¹・舟橋志津子²・福井 糧¹・大城克明²・関口英樹²(¹宇都宮大農学部,²富山農技セ果樹試)</p>	<p>2aC 果09 マイクロサテライトの集団遺伝学的解析による東アジアの栽培ナシの類縁関係 ○池谷祐幸¹・片山寛則²・植松千代美³・間瀬謙子¹・山本俊哉¹・佐藤義彦¹(¹農研機構果樹研,²神戸大農学部,³大阪市大理学部)</p>	<p>2aD 野09 DNAマーカーを用いたアスパラガス雌雄判別法の簡便化と近縁種への応用 ○菅野 明(東北大院生命科学)</p>	<p>2aE 野09 IAAおよびTIBA処理がキュウリの果実肥大と内生ホルモンに及ぼす影響 ○彦坂晶子¹・Patchareeya Boonkorkaew²・杉山信男²(¹千葉大園芸学部,²東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>2aF 野09 遮光ネットの利用が抑制トマト栽培における収量および品質に及ぼす影響 ○草川知行・井上 満(千葉農総研セ)</p>
11:15	<p>座長 井上 久雄 2aA 果10 施設栽培温州ミカン‘宮川早生’の樹勢とTDR土壌水分計で測定した主幹体積含水率との関係 ○浅田真一¹・鈴木伸一¹・真壁敬明¹・平岡潔志²・真子正史³(¹神奈川農技セ根府川,²近中四農研,³東京農大)</p>	<p>2aB 果10 リンゴ樹の2004年台風18号強風による幹切断・倒伏と根系観察 ○荒木 肇¹・堀 廣孝¹・生田 稔¹・小泉章夫²・稲川 裕³(¹北海道大北方生物圏フィールド科学セ,²北海道大農学研究科,³北海道中央農試)</p>	<p>2aC 果10 アジアのクリの遺伝学的分類(第6報)ニホンクリ(<i>C. crenata</i> Siebet Zucc.)とモーバングリ(<i>C. seguinii</i> Doak)の種間雑種の作出 ○寧林¹・霞 正一²・都築久仁³・原 弘道¹・井上栄一¹(¹茨城大農学部,²茨城生工研,³カネボウフーズ(株))</p>	<p>2aD 野10 薬剤処理によるアスパラガス不定胚の早期開花 ○渡部泰希¹・中島寿亀²・駒井史訓¹(¹佐賀大農フィールドセ,²佐賀農試研セ)</p>	<p>2aE 野10 キュウリ果実におけるオーキシン代謝 ○太田祐樹¹・本間麻衣子²・知野秀次¹・新美芳二²・児島清秀¹(¹新潟大院自然科学研究科,²新潟大農学部)</p>	<p>2aF 野10 不織布製ポットを用いたトマトの隔離床栽培における仕立て法が生育と収量に及ぼす影響 ○井上勝広¹・岡 准慈²・三好 規²・大井義弘¹(¹長崎総農林試,²大塚化学(株))</p>
11:30	<p>2aA 果11 ウンシュウミカン樹における水分状態の簡易把握のための「水分ストレス表示シート」の開発 ○星 典安¹・森永邦久^{1*}・横井秀輔²・草場新之助¹・島崎昌彦¹(¹農研機構近中四農研,²ライフケア技研(株),[*]農研機構果樹研)</p>					<p>2aF 野11 北海道における夏秋トマト作型へのアカクローバマルチの導入 ○中山陽佑・荒木 肇(北海道大北方生物圏セ)</p>
11:45	<p>2aA 果12 マルチ方式におけるウンシュウミカンの施肥量低減と樹体生育 ○草場新之助・森永邦久[*]・中尾誠司^{**}・吉川弘泰・島崎昌彦・星 典安・村松 昇・長谷川美典[*]([*]農研機構近中四農研,[*]農研機構果樹研,^{**}農研機構畜草研)</p>					

第2日 9月24日(日) 10:30～12:00

G会場 205教室 野菜Ⅳ	H会場 301教室 花きⅠ	I会場 302教室 花きⅡ	J会場 403教室 花きⅢ	K会場 341教室 利用Ⅰ	L会場 342教室 利用Ⅱ	時間
<p>生育生理Ⅱ 2aG 野 07 実エンドウ‘きしゅううすい’の光合成速度に及ぼす光強度、葉温、CO₂濃度の影響 ○西森裕夫¹・東 卓弥¹・川西孝秀¹・神藤 宏²・福嶋総子²・佐藤 卓³ (¹和歌山農総技セ農試、²和歌山農総技セ暖地園セ、³千葉大園芸学部)</p>	<p>組織培養 座長 高村武二郎 2aH 花 07 マツバボタン多芽体のゲルビーズ乾燥法による超低温保存の試み ○斎藤奈津美・池谷奈美・筒井倫太郎・栗山昭(東京電機大理工学研究科)</p>	<p>生理障害・病害 2aI 花 07 ノイバラ(<i>Rosa multiflora</i>)の根腐病に対する抵抗性の遺伝 ○李 蓮花¹・長岡史祥²・景山幸二³・福井博一² (¹岐阜大院連合農学研究科、²岐阜大応用生物科学部、³岐阜大流園セ)</p>	<p>生育・開花調節 2aJ 花 07 腋芽形成率を低下させる温度域による無側枝性ギクの品種区分 ○仲 照史^{1*}・前田茂一²・竹崎あかね^{1**}(¹農研機構近中四農研、²奈良農総セ、^{**}農水技術会議)</p>	<p>鮮度保持 2aK 利 07 脱気・密封処理による花きの鮮度保持効果に関する研究(第1報)保存温度、期間が切り花ボタンの開花に及ぼす影響 ○金森健一・小早川洋美(島根農技セ)</p>	<p>心理療法 2aL 利 07 在宅精神障害者への園芸作業と看護相談をとりいれた社会復帰支援プログラムの試み 片倉直子¹・野田勝二²・大釜敏正²・小宮山政敏²・本田彰子³・根本敬子¹・喜多敏明²・山本則子¹・石垣和子¹(¹千葉大看護学部、²千葉大環境都市園芸フィールド科学教育研究センター、³東京医科歯科大院保健衛生学研究科)</p>	10:30
<p>生育生理Ⅲ 座長 佐々木英和 2aG 野 08 キャベツ結球葉の硬さの夏から冬にかけての時間的变化 ○篠田光江・田村 晃(秋田農試)</p>	<p>2aH 花 08 ミズワラビのカルス化ならびにカルスからの植物体再生 ○小澤裕貴・市川真由美・津田浩孝・栗山 昭(東京電機大理工学研究科)</p>	<p>病害 座長 山根 健治 2aI 花 08 トルコギキョウに発生する土壌伝染性ウイルスの発生生態の解明と防除技術の確立(第1報)ウイルス感染要因の検討 ○宮本賢二・藤永真史・宮坂昌実・小野佳枝・由井秀紀・山本宗輝(長野野花試)</p>	<p>座長 佐藤 武義 2aJ 花 08 トルコギキョウのロゼット化に及ぼす吸水種子低温処理中の乾燥の影響 ○福島啓吾・勝谷範敏(広島農技セ)</p>	<p>2aK 利 08 脱気・密封処理による花きの鮮度保持効果に関する研究(第2報)脱気・保存中における切り花ボタンの呼吸とエチレン発生量 ○小早川洋美・金森健一(島根農技セ)</p>	<p>2aL 利 08 切り花鑑賞時の生理・心理的応答(第1報) ○多田 充(農研機構花き研)</p>	10:45
<p>2aG 野 09 秋冬期のキャベツは葉肉細胞が小さく甘い ○加納恭卓・平谷榮梨・田坂詩乃(石川県立大生物資源環境学部)</p>	<p>2aH 花 09 水生多年生植物ガガブタのマイクロプロバゲーション ○北野 薫・津田浩孝・稲見美香・栗山 昭(東京電機大理工学研究科)</p>	<p>2aI 花 09 トルコギキョウにおける新規土壌伝染性ウイルス病の発生と抵抗性品種の検索 ○宮坂昌実・藤永真史・宮本賢二(長野野菜花き試)</p>	<p>2aJ 花 09 短時間昇温処理がトルコギキョウの生育に及ぼす影響 ○道園美弦・島地英夫・牛尾亜由子・腰岡政二(農研機構花き研)</p>	<p>収穫後生理 座長 久保 康隆 2aK 利 09 カキ‘太秋’における熟度の違いが1-MCPの処理効果に及ぼす影響 ○中満一晴¹・羽山裕子²・中村ゆり²・櫻村芳記² (¹熊本農研セ果研、²農研機構果樹研)</p>	<p>園芸療法 座長 多田 充 2aL 利 09 色彩を利用した園芸療法の評価法の開発1 ○神山智也・位田晴久(宮崎大農学部)</p>	11:00
<p>2aG 野 10 メキャベツの球形成と花芽形成に関する研究(第5報)結球に及ぼす低温の影響 ○Rungcharoenthong P.・藤目幸廣・寺林 敏・伊達修一(京都府大院農学研究科)</p>		<p>2aI 花 10 バラの根に含まれる根腐病抑制物質 ○長岡史祥¹・李 蓮花²・景山幸二³・福井博一¹ (¹岐阜大応用生物科学部、²岐阜大院連合農学研究科、³岐阜大流園セ)</p>	<p>2aJ 花 10 吸水種子に低温処理を行ったトルコギキョウの茎伸長に及ぼす日長の影響 ○今村 仁・池田 広(農研機構九州沖繩農研)</p>	<p>2aK 利 10 1-MCP処理したスモモ及びアンズにおけるエチレン受容体遺伝子の発現 ○川口康平¹・立木美保²・羽山裕子²・櫻村芳記²・中村ゆり²・杉山信男¹ (¹東京大院農学生命科学研究科、²農研機構果樹研)</p>	<p>2aL 利 10 シクラメン鉢物の消費者のもとでの生育と、その生育が人の気分を与える影響との関係 ○朴 昭英・山根健治・藤重宣昭・八巻良和(宇都宮大農学部)</p>	11:15
		<p>2aI 花 11 キクわい化ウイルスの濃度上昇が遅いキク品種の探索 細川宗孝・○芝 勇人・矢澤 進(京都大院農学研究科)</p>		<p>2aK 利 11 軟化様相の異なるモモ果実におけるベクタン分解酵素遺伝子の発現 ○村山秀樹・有川路子・高橋紀博・三橋 渉・豊増知伸(山形大農学部)</p>		11:30
						11:45

時間	A 会場 227 教室 果樹 I	B 会場 228 教室 果樹 II	C 会場 242 教室 果樹 III	D 会場 103 教室 野菜 I	E 会場 104 教室 野菜 II	F 会場 204 教室 野菜 III
13:30	<p>熱帯果樹 座長 正田 守幸</p> <p>2pA 果 01 タダモノトケイソウの落下が追熟に及ぼす影響 雨宮 俊¹・近藤友大¹・香西直子²・緒方達志³・樋口浩和¹・米本仁巳³ (¹京都大院農学研究所,²香川大院農学研究所,³国際農研)</p>	<p>核果類 座長 白武 勝裕</p> <p>2pB 果 01 モモにおけるSハプロタイプ多様性 ○花田俊男¹・山根久代¹・江角智也¹・Dandekar AM²・笹邊幸男³・八重垣英明⁴・山口正己⁴・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究所,²カリフォルニア大デービス校,³岡山農総セ,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>カキ 座長 板井 章浩</p> <p>2pC 果 01 中国の完全甘ガキ '羅田甜柿' の甘渋性に関連する分子マーカーの探索 ○江口 菜¹・池上礼子¹・北島 宣¹・三谷宣仁²・山田昌彦²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究所,²農研機構果樹研)</p>	<p>マーカー他 II 座長 塚崎 光</p> <p>2pD 野 01 CEL スクレアーズを用いたトマト系統間のDNA多型の探索 ○津金胤昭¹・前田ふみ¹・鈴木秀章¹・桑田主税²・柴田大輔³・青木孝一¹(¹千葉農総研セ,²山武農林振セ,³かずさ DNA 研)</p>	<p>養液栽培 I 座長 中野 有加</p> <p>2pE 野 01 「防根給水ひも」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発 第1報 25段階心栽培における中玉トマトの生育と果実肥大の様相 ○榊田正治・福元祥子(岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>栽培・作型 VI 座長 岩崎 泰永</p> <p>2pF 野 01 バリアフリーイチゴ高設栽培における給液及び移動装置 ○田中一久¹・中西幸峰¹・梶谷 齊¹・新木隆史¹・松岡敏生¹・澤田幸一²・安田府佐雄³(¹三重科振セ,²(株) マツサカエンジニアリング,³(株) サンケイ工業)</p>
13:45	<p>2pA 果 02 収穫後のパッションフルーツ果実の減酸に及ぼすエチレンの影響 ○久保達也・本郷美音・石本知香・富永茂人・山本雅史(鹿児島大農学部)</p>	<p>2pB 果 02 ウメの花芽形成関連遺伝子の解析 ○萩原千耶・江角智也・田尾龍太郎・米森敬三(京都大院農学研究所)</p>	<p>2pC 果 02 日本タイプの完全甘ガキ選抜のための新たなDNA マーカーの探索 ○岡本香菜子¹・赤木剛士¹・三谷宣仁²・山田昌彦²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究所,²農研機構果樹研)</p>	<p>2pD 野 02 ピーマンの未熟果実色に関する量的形質遺伝子座の検出とCAPSマーカーの開発 ○杉田 亘¹・倉田裕文²・木下哲次³・清 志穂⁴・長田龍太郎⁵・川崎信二⁶・平原哲郎¹・轟篤¹(¹宮崎総農試,²下森建装,³東臼杵南部農改セ,⁴宮崎産業支援財団,⁵宮崎農大校,⁶生資研)</p>	<p>2pE 野 02 不織布製ポットを用いた隔離床栽培におけるトマトの高糖度果実生産 ○岡 准慈・三好 規(大塚化学(株))</p>	<p>2pF 野 02 長崎安価型イチゴ高設栽培システム(仮称)の収量性と導入費 ○藤田晃久・野口浩隆(長崎総農試)</p>
14:00	<p>2pA 果 03 エスレール処理がパッションフルーツ果実の糖および有機酸組成に及ぼす影響 ○石本知香・久保達也・富永茂人・山本雅史(鹿児島大農学部)</p>	<p>2pB 果 03 モモ果実におけるBURP-DNAメイタンパク質の発現解析 ○今井 剛^{1,2}・山本俊哉^{1,2}・西谷千佳子¹・森口卓哉^{1,2}(¹農研機構果樹研,²筑波大院・生命環境・先端農業)</p>	<p>2pC 果 03 メマガキでの染色体歩行を用いたカキにおける甘渋性決定遺伝子(A57 遺伝子)探索の可能性 ○赤木剛士¹・増子琢哉¹・神崎真哉²・三谷宣仁³・山田昌彦³・米森敬三¹(¹京都大院農学研究所,²近畿大農学部,³農研機構果樹研)</p>	<p>2pD 野 03 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座 <i>Crr1</i> 領域を含む BAC クロンの単離 ○松元 哲¹・トミタ フーベンス・ノリオ¹・諏訪部圭太²・國久美由紀¹・吹野伸子¹(¹農研機構野菜研,²John Innes Centre Department of Crop Genetics)</p>	<p>2pE 野 03 少量土壌培地耕におけるトマトの長期培地連用 ○高澤卓弥・足立芳浩*・猪田有美*・谿 英則(滋賀農技振セ,*滋賀県東近江農産普及課,*滋賀県南部農産普及課)</p>	<p>2pF 野 03 イチゴ '章姫', '紅ほっぺ' を用いた未分化苗定植法 ○大石智広・中根 健*(静岡農試東部園芸分場,*静岡県農業水産部)</p>
14:15	<p>座長 深町 浩</p> <p>2pA 果 04 シロサボテ (<i>Casimiroa edulis</i>) の DNA 分析 ○山本雅史¹・富田貴浩¹・遠城道雄¹・米本仁巳²・石畑清武¹・久保達也¹・富永茂人¹(¹鹿児島大農学部,²国際農研石垣支所)</p>	<p>2pB 果 04 MRI によるモモの休眠芽の水の動態解析(ADC)と水チャンネル遺伝子の発現解析 ○スラウット ユーヨンウェーシ¹・堀金明美²・吉田 充²・山口正己³・瀬古澤山彦¹・菅谷純子¹・弦間 洋¹(¹筑波大院生命環境科学研究所,²食総研,³農研機構果樹研究所)</p>	<p>座長 尾関 健</p> <p>2pC 果 04 カキ果実のアルコール脱炭処理におけるエタノールからアセトアルデヒド転換説の疑問 ○川上雅弘¹・板井章浩¹・板村裕之²・田辺賢二¹・山田昌彦³・角勝利彦⁴(¹鳥取大農学部,²鳥根大生物資源科学部,³農研機構果樹研,⁴鳥取園試)</p>	<p>マーカー他 III 座長 白岩 裕隆</p> <p>2pD 野 04 葉緑体 SSR (CpSSR) 領域を用いた野菜の DNA 多型解析 ○荒木直幸¹・山内直樹²・執行正義²(¹鳥取大院連合農学研究所,²山口大農学部)</p>	<p>2pE 野 04 傾斜ハウス及び傾斜地養液栽培システムを用いた夏秋トマト・促成ブルーベリーの栽培体系 ○東出忠桐¹・青木宣明²・伊吹俊彦¹・笠原賢明¹・木下貴文¹(¹農研機構近中四農研,²鳥根大生物資源科学部)</p>	<p>栽培・作型 VII 座長 西沢 隆</p> <p>2pF 野 04 イチゴ越年株を利用した夏どり栽培に関する研究(第3報)翌春の施肥条件がその後の開花に及ぼす影響 ○矢野孝喜・長菅香織・山崎博子・稲本勝彦・山崎 篤(農研機構東北農研)</p>
14:30	<p>2pA 果 05 ビタヤ(ドラゴンフルーツ)果実の品質に及ぼす遮光の効果 野村啓一¹・井出 舞²・米本仁巳³(¹神戸大農学部,²神戸大院自然科学研究所,³国際農研セ)</p>	<p>座長 久保田尚浩</p> <p>2pB 果 05 モモ亜属、スモモ亜属およびユスラウメ、ニワウメ等の核果類の種間交雑における結実率 ○山口正己¹・八重垣英明¹・末貞佑子¹・土師岳²・三宅正則³(¹農研機構果樹研,²農研機構東北農研,³山梨県庁)</p>	<p>2pC 果 05 カキ '早秋' の枝長の違いが結果ならびに果実品質に及ぼす影響 ○千々和浩幸・平川信之*(福岡農総試,*久留米普セ)</p>	<p>2pD 野 05 ネギにおける連鎖地図と染色体との対応 ○塚崎 光¹・松原典子²・Hang Tran Thi Minh^{2,3}・若生忠幸¹・山下謙一郎¹・小島昭夫¹・執行正義²(¹農研機構野菜茶研,²山口大農学部,³ハノイ農業大農学部)</p>	<p>養液栽培 II 座長 浅尾 俊樹</p> <p>2pE 野 05 ネギの水耕栽培におけるトレイ方式でのトレイ間隔と播種密度 ○越智資泰¹・田中昭夫²・阿部 亨³・今井俊治¹(¹広島農技セ,²広島北部農技指導所,³(株)あべだんボール)</p>	<p>2pF 野 05 秋どりイチゴにおいてランナーで接続した子苗と親株とを同時に短日処理した場合の親株の収量性 ○山崎 篤・矢野孝喜・長菅香織・稲本勝彦・山崎博子(農研機構東北農研)</p>
14:45	<p>2pA 果 06 マンゴー遺伝資源の特性評価マニュアル ○正田守幸¹・竹内誠人¹・出花幸之介¹・佐藤義彦²・白田和人³・長峰 司³・池宮秀和¹(¹沖繩農研名護,²農研機構果樹研,³生資研,*農研機構近中四農研)</p>	<p>2pB 果 06 岐阜県飛騨地域におけるモモの障害樹発生要因の解析 4. 台木品種の根の形態と耐水性差異 ○神尾真司・宮本善秋(岐阜中山間農技研)</p>	<p>2pC 果 06 カキ '太秋' および '夕紅' の受精と種子形成との関連 ○長谷川耕二郎・瀧澤沙織・尾形凡生(高知大農学部)</p>	<p>2pD 野 06 シャロット由来第5染色体を一对もつ四倍性ネギ系統の作出およびその生殖能 ○増崎真一¹・祝 昌寿^{2*}・新 正仙²・山内直樹²・執行正義²(¹鳥取大院連合農学研究所,²山口大農学部,* (株) 七宝)</p>	<p>2pE 野 06 葉ネギ湛液式水耕栽培における培養液の酸素溶解処理および冷却が生育、収量に及ぼす影響 ○石津文人¹・山本晃二¹・小林 隆²(¹鳥根農技セ,²鳥根東部農振セ)</p>	<p>2pF 野 06 イチゴのランナー冷蔵処理が苗の生育、花芽分化に及ぼす品種間差異 ○小林 保・斉藤隆雄(兵庫農総技セ)</p>

第2日 9月24日(日) 13:30～15:00

G会場 205教室 野菜IV	H会場 301教室 花きI	I会場 302教室 花きII	J会場 403教室 花きIII	K会場 341教室 利用I	L会場 342教室 利用II	時間
	<p>分子機構 (開花調節・生理障害) 座長 深井 誠一</p> <p>2pH花01 ストックの花成における低温要求性とFLOWERING LOCUS C ホモログ (MFLC) との関連 ○久松 完・西島隆明・腰岡政二(農研機構花き研)</p>	<p>栄養生理 座長 梶原 真二</p> <p>2pI花01 栽培方法の違いによるカーネーションの養分吸収特性の比較 ○加藤智恵美・稲葉善太郎(静岡農試南伊豆分場)</p>	<p>光質 座長 今村 仁</p> <p>2pJ花01 赤色光LEDを用いた間欠照明における暗期幅が秋ギクの開花に及ぼす影響 ○石倉 聡¹・村上克介² (¹広島農技セ,²三重大生物資源学部)</p>			13:30
	<p>2pH花02 シンビジウムの花芽の高温による枯死を制御する分子機構 ○三田 悟¹・逸見竜也²・大野 始²(¹静岡大遺伝子実験施設,²静岡大農学部)</p>	<p>2pI花02 オドンチオダの生育・開花に及ぼす窒素、リン酸、カリ施肥の影響 ○村松嘉幸¹・松浦真夕美²・伊藤真広²・逆井肇³・渡部一夫³・窪田聡¹(¹日本大院生物資源科学研究科,²日本大生物資源科学部,³(株)ニチレイ)</p>	<p>2pJ花02 赤色電球形蛍光ランプによる暗期中断時間と光量が秋ギク型スプレーギクの開花と花房形状に及ぼす影響 ○佐々木厚¹・吉村正久^{1*}・鈴木誠一¹・勝田敬子²・森山巖興²(¹宮城農園総研,²東芝ライテック(株),[*]宮城大崎地方振事務所)</p>			13:45
	<p>分子機構(形) 座長 仁木 智哉</p> <p>2pH花03 バラ花卉におけるエクスパンション遺伝子の発現解析 ○高橋 励・山田邦夫・前坂昌宏・白武勝裕・山木昭平(名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>2pI花03 デンブ含有生分解性プラスチックポットにおける窒素飢餓と対策 ○大石一史・牧田尚之・加藤俊博(愛知農総試)</p>	<p>2pJ花03 遠赤色電球形蛍光ランプによるトルコギキョウの秋冬期における開花促進 ○佐藤武義¹・工藤則子¹・小野恵二¹・勝田敬子²・金山喜則³(¹山形農総研セ農生産技試,²東芝ライテック(株),³東北大院農学研究科)</p>			14:00
	<p>2pH花04 バラ切花に及ぼすインベルターゼの影響 ○伊藤真和¹・山田邦夫¹・前坂昌宏²・白武勝裕¹・山木昭平¹(¹名古屋大院生命農学研究科,²名古屋大農学部付属農場)</p>	<p>2pI花04 ECメータによるバラ湛液式養液栽培における養分吸収特性の計測 ○佐藤展之¹・寺田吉徳¹・貫井秀樹¹・嶋本久二²・山崎完治(¹静岡農試,²(株)プランツ)</p>	<p>2pJ花04 暗期中断に用いる光源の種類によるトルコギキョウの成長・開花の促進と遅延 ○山田明日香・谷川孝弘・葉山拓郎・松野孝敏・國武利浩(福岡農総試)</p>			14:15
	<p>2pH花05 シロイヌナズナ由来のTCP3キメラリプレッサー遺伝子がトレンシアおよびキクに与える効果 ○鳴海貴子¹・間電太郎¹・小山知嗣^{2,3}・高木 優^{2,3}・大坪憲弘¹(¹農研機構花き研,²産総研・ゲノムファクトリー,³科学技術振興機構・CREST)</p>	<p>水・光合成 座長 稲本 勝彦</p> <p>2pI花05 ベンマン式による蒸発散位と葉面積推定値に基づいて開発した自動灌水プログラムによるミニバラ鉢物栽培における灌水管理 ○于 文進¹・北村 恰²・加藤克彦³・福井博一²(¹岐阜大院連合農学研究科,²岐阜大応用生物科学部,³岐阜農技研)</p>	<p>座長 福田 直也</p> <p>2pJ花05 遠赤色光と赤色光および青色光がシュウコンカスミソウの開花に及ぼす影響 ○山本健志¹・森山巖興²・勝田敬子²・金山喜則¹・金浜耕基¹(¹東北大院農学研究科,²東芝ライテック(株))</p>			14:30
	<p>座長 菅野 明</p> <p>2pH花06 アジサイの2種類の小花におけるクラスB遺伝子の発現解析 ○上町達也・北川めぐみ・常井秀人・松本百合香・西尾敏彦(滋賀県大環境科学部)</p>	<p>2pI花06 サボテンの栽培法 7. 水やりの検討 ○井上直久¹・長村智司²・西澤信代司³・津村兼光⁴(¹大阪府大産学官,²大阪テクノホルティ園芸学校,³西沢サボテン園,⁴大江化学工業)</p>	<p>2pJ花06 ハウス栽培されたストックの開花に及ぼす発光ダイオード照射の影響 吉村正久^{1*}・佐々木厚¹・鈴木誠一¹・勝田敬子²・森山巖興²・金浜耕基³(¹宮城農園総研,²東芝ライテック(株),³東北大院農学研究科,[*]宮城大崎地方振事務所)</p>			14:45

時間	A 会場 227 教室 果樹 I	B 会場 228 教室 果樹 II	C 会場 242 教室 果樹 III	D 会場 103 教室 野菜 I	E 会場 104 教室 野菜 II	F 会場 204 教室 野菜 III
15:00	<p>ナギナタガヤ他 座長 梅宮 善章</p> <p>2pA 果 07 ナギナタガヤの発生生態、並びに <i>Bacillus</i> 菌固定炭資材や尿素処理による生育促進 ○小林紀彦¹・松村 篤²・石井孝昭² (1 元 KANSO 生環研, 2 京都府立大院農学研究所)</p>	<p>核果類</p> <p>2pB 果 07 ウメ新梢の低温ストレスに対する反応 ○根来圭一^{1,2}・城村徳明²・大江孝明²・花田裕美¹ (1 (財) わかやま産業振興財団, 2 和歌山農総技セ果試うめ研)</p>	<p>ブルーベリー等 座長 島田 武彦</p> <p>2pC 果 07 ブルーベリー (<i>Vaccinium spp.</i>) における SSR マーカーの開発 ○榎川 聡¹・寧 林²・井上栄一²・木村康夫¹ (1 群馬農総技セ, 2 茨城大農学部)</p>	<p>マーカー他 III</p> <p>2pD 野 07 複二倍体ワケギにネギを戻し交雑して得られた BC₂ のゲノム・染色体構成とそれらの特性 ○谷口成紀¹・大土井典子²・稲田佳奈子²・山内直樹^{1,2}・長久 逸³・執行正義^{1,2} (1 鳥取大院連合農学研究所, 2 山口大農学部, 3 広島農総技)</p>	<p>養液栽培 II</p> <p>2pE 野 07 ニラ養液栽培技術の開発 N, P, K 濃度がニラの初期生育と養分吸収に及ぼす影響 ○武 占会・丸尾 達・篠原 温 (千葉大園芸学部)</p>	<p>栽培・作型 VIII 座長 吉田 裕一</p> <p>2pF 野 07 ビール粕成炭混合培地による夏秋採りイチゴの生育促進効果 ○船津正人¹・高塚宏明¹・前田智雄¹・白井建史²・岡本裕行²・木下宗茂²・鈴木 卓¹・大澤勝次¹ (1 北海道大院農学研究所, 2 アサヒビール (株))</p>
15:15	<p>2pA 果 08 ナギナタガヤおよびバヒアグラスの茎葉および根に生息する白紋羽病菌拮抗微生物が他の土壌病原菌およびリン溶解能に及ぼす影響 ○石井孝昭・安田篤志・落合彩織・堀井幸江・クルス F. アンドレ (京都府立大院農学研究所)</p>	<p>座長 八重垣英明</p> <p>2pB 果 08 ウメ産地土壌の特性と樹体生育の関係(第1報) 幼木期における土壌タイプ別養水分溶脱特性 ○岡室美絵子¹・土田靖久¹・桑原あき^{1*} (1 和歌山農総技セ果試うめ研, * 和歌山果樹園芸課)</p>	<p>2pC 果 08 DNAマーカーを用いたブルーベリーの品種判別 ○宇藤山裕美¹・赤木功^{1,2}・清 志穂^{1,2}・杉田 亘¹・川崎信二³・國武久登⁴・杉本安寛⁴ (1 宮崎農試, 2 宮崎産業支援財団, 3 生資研, 4 宮崎大農学部)</p>	<p>遺伝子解析 座長 松元 哲</p> <p>2pD 野 08 イチゴのソルビトール関連酵素の遺伝子発現に対する糖および植物ホルモンの影響 ○ Duangsrisai Sutsawat¹・山田邦夫¹・白武勝裕¹・金山喜則²・山本昭平¹ (1 名古屋大院生命農学研究所, 2 東北大院農学研究所)</p>	<p>養液栽培 III 座長 丸尾 達</p> <p>2pE 野 08 プロリン施用がキュウリの生育および収量に及ぼす影響 ○浅尾俊樹¹・竹内 誠²・宮沢由紀²・北澤裕明¹・伴 琢也¹・細木高志¹ (1 鳥根大生物資源科学部, 2 味の素 (株))</p>	<p>2pF 野 08 極少量培地耕が四季成り性イチゴ 'エラン' の生育および根系構造に及ぼす影響 ○山下正隆・沖村 誠 (九州沖繩農研)</p>
15:30	<p>2pA 果 09 バヒアグラスを用いたアーバスキュラー菌根菌の簡便な胞子生産技術の開発 ○堀井幸江・松村 篤・クルス F. アンドレ・石井孝昭 (京都府立大院農学研究所)</p>	<p>2pB 果 09 ウメ '南高' の果実肥大期における簡易樹体水分測定法 (第2報) 硬核期前から成熟期までの安定的測定法の検討 ○三宅英伸・城村徳明 (和歌山農総技セ果試うめ研)</p>	<p>2pC 果 09 既知の遺伝子情報を利用したブルーベリーの系統分類 ○赤木 功^{1,2}・宇藤山裕美¹・清 志穂^{1,2}・杉田 亘¹・國武久登³・杉本安寛³ (1 宮崎農試, 2 宮崎産業支援財団, 3 宮崎大農学部)</p>	<p>2pD 野 09 トマトの減数分裂におけるテロメア結合タンパク質の役割 ○森口 亮・金浜耕基・金山喜則 (東北大院農学研究所)</p>	<p>2pE 野 09 根圏加温とその時間帯がセルリーの収量および電力使用量に及ぼす効果 ○木下貴文・東出忠桐・藤野雅丈・伊吹俊彦・笠原賢明 (農研機構近中四農研)</p>	<p>2pF 野 09 四季成り性イチゴ 'なつあかり' の当年苗利用による冬期加温栽培における出蕾開始時期および収量 ○今田成雄・濱野 恵・山崎浩道・岡本 潔・矢野孝吾 (農研機構東北農研)</p>
15:45	<p>2pA 果 10 活性炭素繊維がアーバスキュラー菌根菌の生長に及ぼす影響 ○松村 篤・堀井幸江・クルス F. アンドレ・フレイリ・石井孝昭 (京都府立大院農学研究所)</p>	<p>2pB 果 10 ウメ '南高' 果実の採取時期、採取後の熟度進行と梅酒品質 ○大江孝明・岡室美絵子・根来圭一・土田靖久 (和歌山農総技セ果試うめ研)</p>	<p>2pC 果 10 ナナカマド (<i>Sorbus commixta</i>) およびアロニア (<i>Aronia melanocarpa</i>) 正逆雑種間のフローサイトメトリーにおける相違 ○西 千尋¹・鈴木 卓¹・興津 淳¹・嘉見大助¹・村田奈芳²・大澤勝次¹ (1 北大院農, 2 農研機構北海道農研)</p>	<p>2pD 野 10 トマト EST ライブラリーに見出された新規糖輸送体 ○日置淳平¹・山本昭平¹・青木 考²・柴田大輔²・白武勝裕¹ (1 名古屋大院生命農学研究所, 2 (財) かずさ DNA 研究所)</p>	<p>2pE 野 10 ヤマイモおよび守口大根の養液栽培 ○藤重宣昭・増田尚士 (宇都宮大農学部)</p>	<p>栽培・作型 IX 座長 元木 悟</p> <p>2pF 野 10 温暖化がわが国の野菜・花き生産に及ぼしている影響の現状について ○杉浦俊彦[*]・住田弘一[*]・横山繁樹[*]・小野 洋^{**} (農研機構本部, * 農研機構果樹研, ** 農研機構中央農総研)</p>
16:00		<p>座長 富田 晃</p> <p>2pB 果 11 オウトウ平棚栽培の実用性 ○志村浩雄・木幡栄子・高野靖洋[*]・相原隆志[*]・増子俊明^{**}・畠 良七[*]・永山宏一 (福島農総セ果樹研, * 福島会津農林, ** 福島県中農林)</p>			<p>養液栽培 IV 座長 高市 益行</p> <p>2pE 野 11 ビート栽培イチゴに対する低 K, Ca, Mg 培養液施用の影響 吉田裕一・○山東寛昭 (岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>2pF 野 11 栽培初期の着果量および着果開始節の違いが促成カラーピーマンの生育、収量に及ぼす影響 ○深田直彦[*]・黒木利美[*]・渡司照久 (宮崎農試)</p>
16:15		<p>2pB 果 12 甘果オウトウの裂果に関与する果実の吸水と呼吸に起因する果肉細胞間隙の減圧との関係 ○岩崎直人・藤本明日香・相模真衣 (明治大農学部)</p>			<p>2pE 野 12 マトリックポテンシャルを指標とする午前と午後の給液管理の違いがイチゴの生育、収量に及ぼす影響 ○遠藤昌伸・金 泳錫[*]・切岩祥和[*]・藤谷 明 (静岡大農学部)</p>	<p>2pF 野 12 早生黒大豆エダマメの夏作ホウレンソウ前作物としての栽培時期および育苗用セルサイズの検討 ○吉田祐子[*]・熊倉裕史[*]・亀野 貞 (農研機構近中四農研)</p>
16:30		<p>2pB 果 13 植物ホルモンが甘果オウトウの二雌ざい花の発生に及ぼす影響 ○別府賢治[*]・矢内原碧[*]・池田貴之[*]・片岡郁雄 (香川大農学部)</p>			<p>2pE 野 13 水分センサーを利用した即時制御灌水法による促成イチゴ連続うね利用栽培の灌水同時施肥栽培法 ○齋藤弥生子[*]・矢部和則 (愛知農総試)</p>	<p>2pF 野 13 マルチ及び土寄せがサトイモの芋の着生及び収量に及ぼす影響 ○林 斐[*]・北田幹夫 (富山農総技野菜花き試)</p>
16:45						

第2日 9月24日(日) 15:00～16:45

G会場 205教室 野菜IV	H会場 301教室 花きI	I会場 302教室 花きII	J会場 403教室 花きIII	K会場 341教室 利用I	L会場 342教室 利用II	時間
	<p>分子機構(形) 2pH花07 キンギョソウB機能遺伝子の導入による二重咲きトレンアの作出 ○安達慎介¹・鳴海貴子²・間竜太郎²・仁木智哉²・西島隆明²・大宮あけみ²・半田高¹(¹筑波大院生命科学科学研究科,²農研機構花き研)</p>	<p>水・光合成 2pI花07 ハイラック仕立て法におけるバラの折り曲げ枝からの光合成産物の転流と分配 ○梶原真二¹・伊藤純樹¹・勝谷範敏¹・後藤丹十郎²(¹広島農技セ,²岡山大農学部)</p>	<p>光質 2pJ花07 3種類の光処理が花壇苗の生育に及ぼす影響 ○末留昇(京都農総研)</p>			15:00
	<p>2pH花08 CPPU処理したトレンアをつぼみにおけるMADS-box遺伝子の発現パターンの解析 ○仁木智哉・山口博康・西島隆明(農研機構花き研)</p>	<p>屋上緑化 座長 大石 一史 2pI花08 屋上緑化用植物の蒸発散特性 ○柴田忠裕(千葉農総研)</p>				15:15
	<p>分子機構(色) 座長 西島 隆明 2pH花09 キク花卉の白色の形成にはカロテノイド分解酵素(CmCCD1)が関与している ○大宮あけみ・岸本早苗・間竜太郎・能岡智(花き研)</p>	<p>2pI花09 屋上緑化植物の選抜における成長生理特性の評価 ○千藤貴博¹・金地通生¹・宇野雄一²・稲垣昇¹(¹神戸大院自然科学研究科,²神戸大農学部)</p>				15:30
	<p>2pH花10 キンセンカの橙色花卉に蓄積するカロテノイドの5位の異性化に関わる候補遺伝子の単離 ○岸本早苗・能岡智・大宮あけみ(農研機構花き研)</p>	<p>2pI花10 育苗期の風処理が定植後の風処理条件下での花壇苗の生育に及ぼす影響 ○竹本哲行・末留昇(京都農総研)</p>				15:45
	<p>2pH花11 キクカロテノイド分解酵素相同遺伝子CmCCD1プロモーターの単離と解析 ○能岡智・大宮あけみ・間竜太郎・岸本早苗(農研機構花き研)</p>					16:00
	<p>2pH花12 マーガレット育成品種・系統の花弁におけるカロテノイド分解酵素遺伝子の発現解析 ○稲葉善太郎¹・植田陽子^{2*}・岸本早苗³・大宮あけみ³(¹静岡農試南伊豆分場,²静岡農試,³農研機構花き研,*静岡県中遠農林事務所)</p>					16:15
						16:30
						16:45